



## 大変動の2008

今年も残すところ、あと2ヶ月と半分になりました。まだ今年の締めくくりをするには早いと思いますが、私なりに今年を振り返ってみたいと思います。

毎年、新年を迎えて思うことは、どんな年でもいいので、人が笑顔でいられる年であって欲しいということです。しかし、今年は(も?)悲しい事件などが続きました。秋葉原の無差別殺人、最近ではネットカフェの放火事件。どちらも死者が多数出ました。共通することは犯人のあまりにも身勝手な考え方です。このような事件を考えると、本人が悪いのか、それともこのように育てた親が悪いのかという、卵が先か、鶏が先か、の考え方にぶつかります。永遠の課題なのでしょうか。

業界的には、昨年末から鉄屑価格が上がり始め、今年7月に天井を迎えるまで、本当にどこまで上がるのだろうと、1974年9月に最高を記録して以来の高値を更新し、正に天井知らずで伸びていきました。

しかし、永遠なんてものが無いのと同じで、やはり昇ったものはいつか降りる時がくるんだと思いながら商いをしておりました。そしてその時を迎えたのが7月半ばでした。下り坂は崖となり、転げるというよりは、谷底に落ちていくようでした。9月の2週目にメーカー各社の値下げが止まり、値上げに転じたときに、底を打ったかのような安堵感が業界に広がりました。上がらないまでも最悪横ばいでいってくれと願いましたが、残念ながら願いは届きませんでした。若干の上げの後、その分も消し去る下げが再び舞い戻ってきました。

米国のサブプライム問題からなのでしょう、日本の鉄屑を購入していた韓国が購入を控え(ほとんど購入意欲を見せず)てきたので、国内屑、特に関東は鉄屑の発生が多いため、荷余り状態になっています。鉄屑のみ

ならず、世界的に銅、アルミなどの非鉄関係も大幅な下落を迎えています。

今後の先行きは不透明ながらも、各国政府は公的資金の注入を発表し、その影響が、休み明けの今日(10/14)、東京証券取引所は反発から始まりました。今年最後までこの動乱は続くのでしょうか。

## 韓国視察研修

10月9～12日まで韓国へ視察に行ってきました。韓国最大手のPOSCOや現代製鉄の視察や先方との会談の予定で訪問いたしました。

これについてはまた改めてご紹介をしたいと思います。

韓国の話ですが、中国と違うのは飲料の自動販売機があるということです。普通に置いてありました。ほとんど日本と同じように、コンビニも、高速道路のSAの売店も使えました。これは違うなと感じたのが、看板です。ほとんどの看板がハングルで書かれているので読めません。中国みたいに漢字でしたら我々日本人にもある程度読めるのですが、これにはお手上げでした。

買い物は意外と日本語が通じたり、わからないまでもレジの数字を見ればわかったりするのであまり苦労はありませんでした。ちなみに缶コーヒーは700WON(約70円)、100円ライターは300WON(約30円)でした。車については限りなく韓国国産メーカーがほぼ100%近くをしめており、外車はほとんど見かけませんでした。ソウル市内の高そうなお店の前には停まってはいましたが、あまり車にお金を使う人達がいなかったのでしょうか。週末の3連休ということもあり、都市部ということもあるのでしょうか、ソウルの町には大勢の人々が集まり、道路は夜9時を過ぎても渋滞は続いていました。この状態から見ると、車両の保有率は高いのでしょうか。ガソリンは恐らくレギュラーで165円/L程度だと看板を見た記憶があります。あまり安くはないですね。原油からの精製コストは日本とあまり変わらないとの事ですから税金分が日本の税率並みにあるのでしょうか。その代わり、高速代を非常に安く設定しているそうです。

## ガソリン代の値下げが続くと……。

ついこの間まで高かったガソリン代。そこに人気があるのがハイブリッド車、乗用車がもっと出れば安い軽油のディーゼル車。ともに元を取るのにはそれなりに走行距離を乗る必要があります。やはり買うなら電気自動車ということになるのでしょうか。